



◆経営者の視点で決算書
ノモトコンサルティング 26
立川商工会議所(東京都立川市)
援セミナーを開く。午前の部は
定はそれで大丈夫」と題し、実
例を交え、必要規定の作成方法
社内の研修など作って使える会
づくりを紹介する。午後の部
は「社長自身が知らない会社の
題し経営者の視点でマスターす
の読み方を解説する。参加無料
せは同社(04-2941-6372)へ。

◆均等・両立推進表彰企
厚生労働省 2017年度の「均
進企業表彰」の候補企業の募集
職場で女性の能力を発揮させる
組みや、仕事と育児・介護との
する企業を表彰する。締め切り
い合わせは東京海上日動リスク
ィング「均等・両立推進企業表
(03-5288-6582)へ。

◆石川県工試事業を紹介
石川県工業試験場 20、21の
総合研究所と共催で「石川イノ
促進セミナー」を金沢市の同試
する。試験場の事業を紹介する
は産総研石川サイト開所1周年
開催される。入場無料。参加申
日まで。問い合わせは同試験場
(076-267-8081)へ。

◆浜松でマッチングフェ
浜松信用金庫(浜松市中区)と
議所、遠州信用金庫(同)と共催
両日、中区のアクティシティ浜松
ビジネスマッチングフェア in
matsu2017)を開く。225企業
展。新たな基幹産業として注目
ポット産業ゾーン」を初めて設
料。期間中に8000人の来場を見込

フジコー、環境事業に力

光触媒製品など 本格メーカーへ

技術開発拠点を全面移転

【北九州】フジコー(北九州市戸畑区、萩尾寿昭社長、093-871-3724)は、同市若松区の若松響工場の隣接地を取得、同市戸畑区にある技術開発センターを全面移転する。若松響工場は光触媒などの環境事業を手がけている。色素増感太陽電池など新規事業の研究開発拠点を同工場の近くに置き、環境事業のさらなる強化を図る。技術開発センターが移転する用地は北九州市から取得した。投資額は約1億5000万円。敷地面積は6600平方メートル。移転時期は明らかにしていないが、現用地は売却する。



技術開発センターは1959年(昭34)に浅口市)、環境関連はフジコー発祥の地で、「牧山工場の名称で設立した。溶接や溶射のほか新規分野の研究開発も行っているが、手狭で建屋も老朽化したため移転先を探していた。萩尾社長は「鉄鋼関連は山陽工場(岡山県環境事業を手がける若松響工場

スク」の名称で消費
・除菌製品を製造して
おり、13年に若松響工
場を建設した。16年3
月期売上高は約120
億円。

システム導入、見える化

福井精機 年間経費100万円削減

福井精機工業(大阪 本格稼働を目指す。
市大正区、山下喜久雄 現在、表計算ソフト
社長、06-65552-0115)は、原価や工
程を一元管理するシステムを導入する。「見える化」で原価の把握や生産の効率化で年間1000万円の経費削減、現状より10%の受注増を狙う。設備投資額は約1000万円だが、2018年2月の

ちよつと訪問

GLC Japanは革
財布など小物雑貨を手がけ
る。大手電機メーカーなど
を経て経営コンサルタント
となっていた山之内敦社長
が、前身の会社から事業や
技術を継いで設立した。
同社ではクラウドファン
ディングを活用した自社商
品開発を積極化。その理由
として山之内社長は「資金
調達だけでなく、どんな人

GLC Japan

不撓不屈

道産材買い付け
トキワランパテック
(名古屋市中区)の前身の
常盤木材は、トキワラン

木材販売ノウハウ構築

た。現社長で3代目の吉
住竜志は雄介のおいで、
親族で引き継いでいる。
初太郎は180センチを
超える長身で、周囲から
目立つ存在感があつた。
北海道で木材を買い付け
るため現金と日銀保証手
で築いたノウハウ、資金

加工に未来託し社

組みだつた。常盤木材は、ドアや内装材向け
その合板を合板製品のメ
ーカーに販売した。
1カーに販売した。
豊富だった同社は印刷
建材では新建材のブ
社からフィルムをス
ムに合わせ、合板とフィ
ズに調達でき、上場
ルムによる化粧板を製造
だった印刷会社の信用